さ く ら の 学 び 舎

桜学園つくば市立さくら小学校　学校だより　第８号　令和８年１１月４日

自分の「やってみたい」が、みんなの幸せにつながる学校づくり

～ ともに創る学校を目指して ～

第４回発足準備会の報告
【学校支援組織「さくらっ子応援団（仮称）」の設立に向けて】

去る 10 月 29 日（木）に、「第４回学校支援組織発足準備会」を開催しました。今回は、新しい組織の本部的な役割（仮称：学校コーディネーター）や、学年委員的な役割（仮称：学年コーディネーター）を担う準備委員 14 名のうち、11 名の皆様にご参加いただきました。

会議では、これまでの協議を踏まえ、新組織の規約や役割分担、活動への協力方法、会計の仕組みなどについて、具体的な検討を進めました。今回の協議でも大切にしたのは、**「保護者の皆様が無理なく、できるときに、できる範囲で、学校や子供たちを応援できる組織にすること」**です。保護者の皆様一人一人の思いや得意なこと、ちょっとした協力が子供たちの笑顔や学校生活の充実につながる、そんな組織を目指しています。以下、協議の概要をお知らせいたします。

１　組織（仮称：「さくらっ子応援団」）について

新組織の規約（案）について、主に次の点を検討しました。

- 代表は、複数の方で運営できるよう、「共同代表」を置くことができる規定とします。
- 希望者がいない役職は無理に設けず、そのときの状況に応じて柔軟に運営できる仕組みとします。
- 保護者の参加や協力は自由・任意とし、それぞれの事情に合わせて、誰もが気軽に関われる組織を目指します。
- 全体で話し合う場の名称は、従来の PTA 組織をイメージさせる「総会」ではなく、「応援団ミーティング」とする方向で検討しています。
- 個人情報（名簿や連絡先など）は、原則として応援団独自では収集・保管しません。ただし、活動上必要な場合には、本人の承諾を得た方に限り、学校から必要な情報を共有できる仕組みとします。

２　活動資金について

保護者の皆様から一律の会費を集めることはせず、必要な活動や物品の購入などについて、具体的な目的と目標額、使い道を明確にした上で、任意の協力金や寄付を募る方向で検討しています。

例えば、テントなどの備品を購入する際に、必要な金額や使い道をお知らせし、その都度賛同いただける方にご協力をお願いする方法です。

また、振込手数料をはじめとする保護者の皆様の負担や、会計担当者の事務負担にも配慮し、協力金等の募集は、年 2～3 回程度にまとめて実施する方向で調整しています。

さらに、企業や地域の皆様からの寄付などについても、受け入れられる仕組みを検討します。

３　今後の予定について

次回は 11 月中旬に準備会を開催し、規約の修正案などを検討します。その後、全保護者の皆様にご確認いただき、2026 年中の本格運用開始を目指します。

先日のスポーツフェスタでは、テントの片付けや子供たちへの励まし、応援・称賛のメッセージなど、皆様の温かなご協力のおかげで、子供たちは精一杯自分を表現することができました。そこには、子供たちのために「できることを、できる人が」という、まさに新しい応援団が目指す姿がありました。皆様のお力添えに心より感謝するとともに、このつながりをこれからの学校づくりにも生かしていきたいと考えております。

今後も準備の進捗について随時お知らせしてまいります。引き続き保護者の皆様のご理解とご協力をよろしくお願いいたします。